

全国でただ一つの国立4年制体育大学

国立大学法人 鹿屋体育大学
National Institute of Fitness and Sports in KANOYA

問合せ先：広報・企画室広報係
〒891-2393 鹿児島県鹿屋市白水町1番地
TEL：0994-46-4818 URL <https://www.nifs-k.ac.jp/>

各種SNSで情報発信中！



X



Facebook



Instagram



YouTube



NIFS
KANNOYA



2026
鹿屋体育大学
大学案内



NIFS
KANNOYA

National Institute of Fitness and Sports in KANOYA

－ スポーツで未来を拓く自分を創る －



スポーツで
未来を拓く
自分を創る

体育学部

アドミッション・ポリシー

- 1. 【体育学を学ぶための基礎的な力を身に付けている学生】
文系・理系に偏ることのない基礎学力とともに、自分の得意分野の実技能力をも身に付けている学生
- 2. 【自己表現ができる学生】
自分が身に付けた学力や実技で得た経験値を総合的に活用・応用し、スポーツ・武道および体育・健康づくりに関する新たな課題やその解決策を考察し、他者に伝えることができる学生
- 3. 【新たな課題に挑む意欲のある学生】
礼節とスポーツマンシップを身に付けた、新たな課題に進んで挑戦しようとする、感性豊かで協調性のある学生

カリキュラム・ポリシー

スポーツ・武道及び体育・健康づくりにおける実践的かつ創造的で、市民性、国際性を備えたリーダーを養成するために、課程や学生の志向性に沿って、学年進行で1.専門性の深化と充実、2.社会人としての豊かな教養の涵養、3.将来を展望し、勤労観・職業観を醸成できるための教育課程を編成しています。

ディプロマ・ポリシー

スポーツ・武道及び体育・健康づくりにおける実践的かつ創造的で市民性、国際性を備えたリーダーを養成するための知識・能力を身に付け、かつ所定の単位を修得した学生に学位を認定します。

教育課程の編成

授業科目は原則として学期完結型の科目（学期毎に単位が取れる科目）として設定しています。ただし、一部の科目について、通年科目（1年間履修して単位がとれる科目）となっています。

	1年	2年	3年	4年	
一般科目	コミュニケーション科目				
	社会・文化・自然科目				
	総合科目				
キャリア形成科目	キャリアデザイン科目				
専門科目	基礎科目A（人文・社会・自然系）				
		基礎科目B（指導・普及系）			
		応用科目			
		実験演習科目			
	関連実技科目				
		ゼミナール（卒業研究）			
専攻科目	専修科目				
		指導実践科目			
教職科目	教職				
		専門			

- コミュニケーション科目：国内はもとより国際社会で活躍できる語学力とコミュニケーション能力を涵養する科目
- 社会・文化・自然科目：社会の一員として、人間、社会、文化自然及び環境に関する教養や態度を涵養する科目
- 総合科目：社会の一員として、基礎的な情報リテラシー、表現的能力や討論力を身につける科目
- キャリアデザイン科目：スポーツリーダーとしての将来像と勤労観・職業観を醸成する科目
- 基礎科目A（人文・社会・自然系）：体育学の基礎となる人文・社会及び自然系の分野の内容を理解する科目
- 基礎科目B（指導・普及系）：スポーツ・武道及び体育・健康づくりについての指導や普及の基礎的な内容を理解する科目
- 応用科目：国民各層のスポーツ・武道及び体育・健康づくりを指導し、普及させるための専門的、応用的な内容を身につける科目
- 実験演習科目：スポーツ・武道及び体育・健康づくりに関する基礎的な科学的支援力や表現的能力を身につける科目
- 関連実技科目：スポーツ・武道及び体育・健康づくりに関する基礎的な実技力を身につける科目
- ゼミナール（卒業研究）：スポーツ・武道及び体育・健康づくりに関する関心のあるテーマについて、体育学の知識を総合的に活用し、課題設定、解決、説明する能力を身につける科目
- 専修科目（アスリート・コーチング系／生涯スポーツ系／武道系）：スポーツ・武道及び体育・健康づくりに関して、年齢、目的等に応じた体系的な実技指導力や事業運営力を身につける科目
- 指導実践科目（アスリート・コーチング系／生涯スポーツ系／武道系）：専修科目等で身につけた体系的な実技指導力や事業運営力を実地的・実践的に活用し、深める科目
- 教職：中学校や高等学校の教員としての免許を取得するための教職に関する科目
- 専門：中学校や高等学校の保健体育の教員としての免許を取得するための専門（教科）に関する科目

また、授業科目は下表のように、履修（選択）の仕方により「必修科目」、「選択科目」、「自由科目」に分類されます。

区 分	科目区分の特徴（ねらい）
必修科目	単一の授業科目で、その修得が義務づけられている科目
選択科目	複数の授業科目のうちから指定する科目数又は単位数の修得が義務づけられている科目
自由科目	必修科目及び選択科目を除き、その修得を卒業認定の要件とされている科目

授業時間

1：学期と授業時間割

学年を前期（4月1日～9月30日）と後期（10月1日～3月31日）に区分し、原則として学期ごとに授業科目の設定を行います。なお、授業は、原則として各学期とも15週（試験を課す場合は16週）にわたって行います。
授業は、下表のとおり行います。集中講義や学外授業などを行うことがあります。

- 前期：4月1日～9月30日
- 後期：10月1日～3月31日

	開始	終了
第1時限（90分）	8：30	10：00
第2時限（90分）	10：10	11：40
第3時限（90分）	12：40	14：10
第4時限（90分）	14：20	15：50
第5時限（90分）	16：00	17：30

2：休業日

休業日（授業を行わない日）は次のとおりですが、休業日においても特別な場合には授業を行うことがあります。

- ① 週休日（土曜日・日曜日）及び国民の休日に関する法律に定める休日
- ② 開学記念日（10月1日）
- ③ 夏期休業日（8月1日～9月30日）
冬期休業日（12月26日～1月7日）
春期休業日（3月11日～3月31日）
- ④ その他大学が定めた日
注：休業日においても、特別な場合には講義を行うことがあります（集中講義等）。

3：授業の方法

講義、演習、実験、実習もしくは実技又はこれらの組み合わせにより実施します。また、授業は対面形式の他、遠隔形式で実施しているものもあります。
※情報活用能力の育成等のため、ノートPC、タブレット等の情報機器を必携としております。



スポーツ総合課程

スポーツ 総合課程の 目標

専攻系の 紹介

スポーツ総合課程は、体育・健康づくりに関する科学的な基礎知識や応用能力を有し、競技スポーツ、生涯スポーツ、健康づくりに関する専門的能力を、理論と実践の往還を通じて修得することにより、バイタリティーを持ち、国際社会の進展に対応できる実践的かつ創造的で、市民性を備えたりーダーの育成を目標とします。

アスリート・コーチング系

トップレベルの競技力の向上、ジュニア期からトップレベルまでのコーチングを行うことのできる人材を養成するコース。

生涯スポーツ系

健康づくりのコーディネートやスポーツクラブ等の管理運営、プログラム開発を行うことのできる人材を養成するコース。

スポーツ総合課程 3年

在学生からのメッセージ

高山 拓己

TAKAYAMA Takumi

Q1: なぜ鹿屋体育大学に？

鹿屋体育大学は、自分の専門種目に集中して取り組める環境が充実していることや、専門種目であるサッカーをトップレベルの指導者・選手の下で学び、能力や資質をより磨くことができること、そしてこれらは将来にわたって価値があると判断したからです。

Q2: 今頑張っていること、目標は？

課外活動と勉強の両立です。課外活動では、日本一を目標に活動しているため、私自身もその目標に見合った努力・活動をし、日々サッカーと向き合っています。勉強では、単位取得だけでなく、好成績を維持し、さらに多言語の習得を目指して講義や自己学習に励んでいます。

Q3: 好きな授業はなんですか？

鹿屋体育大学ではスポーツに関連する分野を専門的に学ぶことができます。その中でも、競技スポーツ論・実習では、自分の専門種目をより深く学ぶことができ、特にサッカーでは指導者ライセンスを取得することができます。

Q4: 鹿屋体育大を目指す人に一言！

スポーツに関わる道は選手だけでなく、多岐にわたります。私自身は、選手ではなくアナリストとしてチームに貢献しています。好きなスポーツや、将来関わりたい競技の高いレベルを経験し、その環境に身を置くことは、自分の基準の向上につながります。鹿屋体育大学を目指している皆さん、各自の目標に向かって焦らず着実に、そして全力を尽くしていきましょう！

私の時間割＜1年後期＞

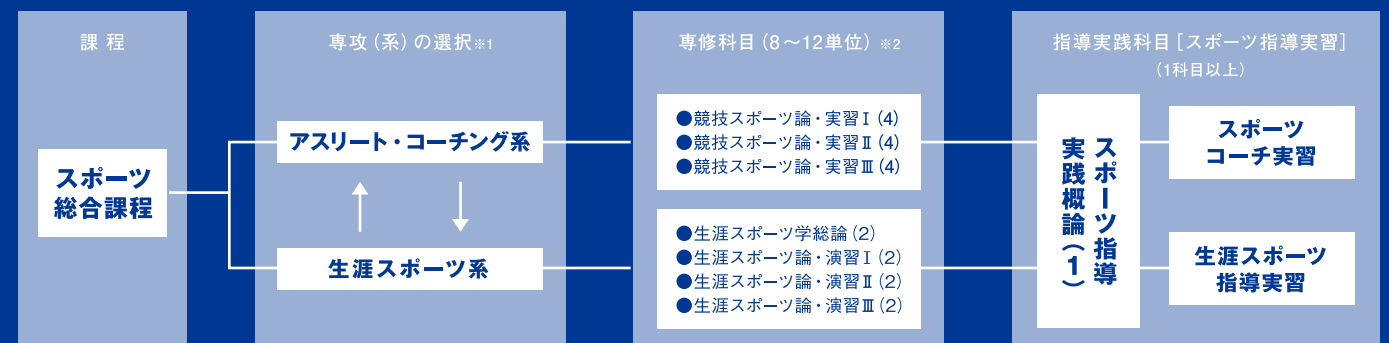
	月	火	水	木	金
1限	総合英語Ⅲ (コミュニケーションのための英文法)	スポーツ心理学	人権論		運動生理学
2限	バイオメカニクスを学ぶための物理数学	スポーツ指導実践概論 キャリアデザインⅡ		日本国憲法	特別支援教育
3限			体育学実験Ⅰ	教師論	
4限	体力トレーニング		体育学実験Ⅰ	ラグビー	競技スポーツ論・実習Ⅰ サッカー
5限			体育学実験Ⅰ		競技スポーツ論・実習Ⅰ サッカー
集中講義：生涯スポーツ学概論					

■一般選抜 ■出身校：東明館高等学校・佐賀県



専攻科目の系の選択

※1) 決められた条件の中で、1つの系以上を選択できるものとします。スポーツ総合課程では2つの系より選択できます。※2) 各系の必修科目を示しています。(注) 選択した系以外で履修可能な他系を → で示しています。() 内は単位数





武道課程

武道課程の目標

武道課程は、体育・健康づくりに関する科学的な基礎知識や応用能力を有し、我が国発祥の身体運動文化として伝承され、今日において競技文化としても広く認識されている武道、特に柔道・剣道における心と技を伝統的修練形式である稽古を通じて修得することにより、武道の精神と、国際社会の進展に対応できる実践的かつ創造的で、市民性を備えたリーダーの育成を目標とします。

専攻系の紹介

武道系

武道における「こころ」と「わざ」を伝統的修練形式により学び、武道の実技指導を行うことのできる人材を養成するコース

武道課程 2年

在学生からのメッセージ

柳沢 心

YANAGISAWA Kokoro

Q1：なぜ鹿屋体育大学に？

日本唯一の国立の体育大学であるという点。また、自身の専門科目である「なぎなた競技」の課外活動があり、競技力を向上させる設備・環境が整っているという点にひかれて鹿屋体育大学に入学しました。

Q2：今頑張っていること、目標は？

現在は将来就きたい職業のための資格の勉強と、自身の競技力の向上に努めています。目標は、インカレで優勝することです！

Q3：好きな授業はなんですか？

「体育学実験」です。項目ごとに学ぶことが変わり、鹿屋体育大学が所有するSPORTECスポーツパフォーマンス研究センターでのフォースプレートを用いた動作の分析を行う実験や測定器具を用いた、自身の最大酸素摂取量を測る実験などの、競技力向上につながる理論を学べる授業が多く、とても楽しいです！

Q4：鹿屋体育大を目指す人に一言！

鹿屋体育大学は、競技力を向上させるための設備・環境が最適に整えられています。また、体育やスポーツに関する専門的な講義が多く、自身の興味のある講義が必ず見つかるはずです。一緒に鹿屋体育大学で競技力を高めあい、学びましょう！

私の時間割＜1年前期＞

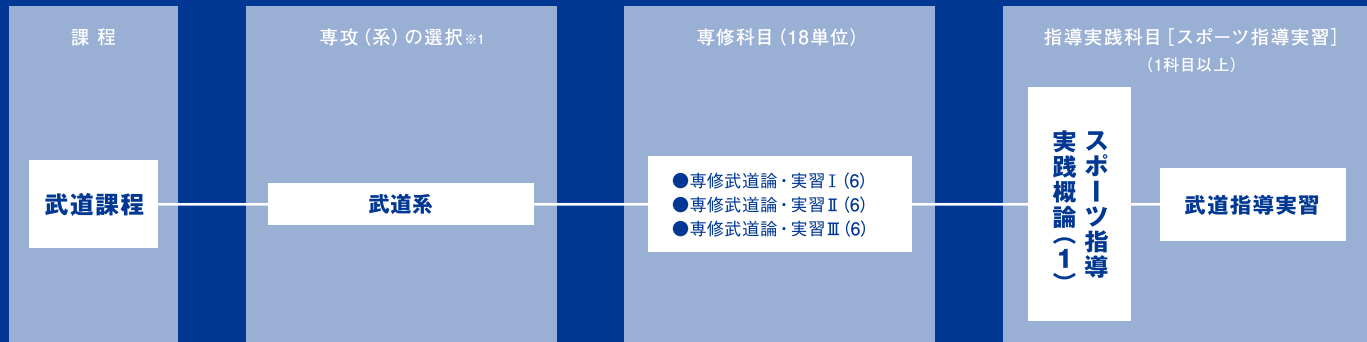
	月	火	水	木	金
1限			体育学概論	体育・スポーツ史	
2限			解剖生理学		情報処理A
3限				キャリアデザインI	ジェンダー論
4限		卓球	身体科学論	中国語	専修武道論・実習I 剣道
5限		学校と教育の歴史			専修武道論・実習I 剣道

■総合型選抜(SS)入試 ■出身校：京都府立南陽高等学校



専攻科目の系の選択

※1) 決められた条件の中で、1つの系以上を選択できるものとします。スポーツ総合課程では2つの系より選択できます。
(注) 選択した系以外で履修可能な他系を → で示しています。()内は単位数



在学学生（編入学生）からのメッセージ

スポーツ総合課程 4年

大上 一ノ助

OUE Ichinosuke



Pick up | 注目授業

□ スポーツパフォーマンス研究論

スポーツパフォーマンス研究論は、スポーツや武道等の実践現場における活動や取り組み（スポーツパフォーマンス）を記述（可視化）→説明（解釈）→予測（仮説創出）→操作（仮説検証）する研究方法や、その研究例（実践研究）を学修します。学生は、卒業研究等において実践研究の論文の作成ができるようになるための基礎的な研究方法について理解し身につけます。



Q1：なぜ鹿屋体育大に？

以前所属していた大学を卒業し、社会科の教員免許状を取得しました。しかし、保健体育教師になる新しい夢に向かって大好きな野球をやりながら活動できる鹿屋体育大学に魅力を感じ、受験を決意しました。大学院や通信教育に行く選択もありましたが、実際の活動を通して基本的なところから学びたいと考え、3年次編入を決めました。

Q2：今頑張っていること、目標は？

野球部での活動と教員採用試験の勉強を頑張っています。野球部では学生コーチとして「成長率で勝負」を合言葉に取り組んでいます。野球部の新たな歴史を築くべく、あらゆる面から選手のサポートや部の運営に携わせていただいています。また、今年の教員採用試験の合格に向けて活動をしています。ゼミの活動でも、プレゼンテーションや小中学校への訪問などで様々な経験をさせてもらっています。

Q3：好きな授業はなんですか？

競技スポーツ論・実習の野球の授業です。これまで10年以上野球をやっていたにもかかわらず新たに学ぶことがたくさんあり、楽しく授業を受けています。また、指導者の立場になった時に生きる知識や技能を身につけることができていると思います。競技の専門性が高くなることは、とてもやりがいと充実を感じています。

Q4：鹿屋体育大を目指す人に一言！

大自然の中で、やりたいことが全てできる、魅力のある鹿屋体育大学に、人生の4年間を捧げてみてください。学生への支援も多くあり、たくさんの方々に支えられながら、課外活動や授業、アルバイト、ゼミの活動等、充実した学生生活ができるはずです。

私の時間割＜3年前期＞

	月	火	水	木	金
1限			保健体育科 教育法Ⅰ	スポーツ 戦術実践論	
2限	海洋スポーツ	スポーツ マネジメント概論	スポーツ社会学		
3限	海洋スポーツ	スポーツ 国際開発論	ダンス		救急処置論・ 実習
4限	柔道		スポーツメンタル トレーニング論		競技スポーツ論・ 実習Ⅱ 野球
5限					競技スポーツ論・ 実習Ⅱ 野球
集中講義：ゼミナールⅡ					

■第3年次編入学 ■出身校：創価高等学校・東京都、創価大学



□ 専修武道論・実習（剣道）

専修武道論・実習（剣道）は、日本の伝統文化・武道の中でも特に「生涯武道」といわれる「剣道」に関して、自らの実技力を高め続けていくとともに、実践者の年齢、目的等に応じた体系的な実技指導力や大会運営のための諸能力（審判等も含む）を学修全期（1年次～4年次）に渡って身につけていく科目です。本科目を1年次～4年次まで学修することによって、全日本剣道連盟公認の社会体育指導員（初級）を取得することができます。

ゼミナール Seminar

ゼミナールは、少人数の学生が指導教員の下で、お互いに質疑討論を交わし、学習成果を発表しながら専門研究領域における知識を深め、研究方法を履修していく授業形態です。3,4年次の必修科目で、各指導教員により実施されます。ここでは、数あるゼミの中から3つを紹介します。

スポーツ・武道実践科学系 中村 夏実ゼミ | 海洋スポーツといえば鹿屋体育大学！

私たちのゼミでは、海洋/水上スポーツ・水辺活動のエキスパートとなることを理想としています。研究課題は、ローイング、カヌースプリント、SUPの競技力向上、海洋スポーツ・水辺活動の健康増進効果やその普及・振興の社会的意義など多岐にわたります。様々な実践活動とフィールド中心の研究展開において、「安全の確保と高い実技スキルで活動ができること」「科学的な思考と豊富な経験値に基づき的確な言語で指導や情報伝達ができること」を大事に取り組んでいます。ゼミ生は、海洋・水上スポーツの選手が多いですが、その他の専門競技の学生も所属し、みんなで海洋・水上スポーツ活動を楽しんでいます。



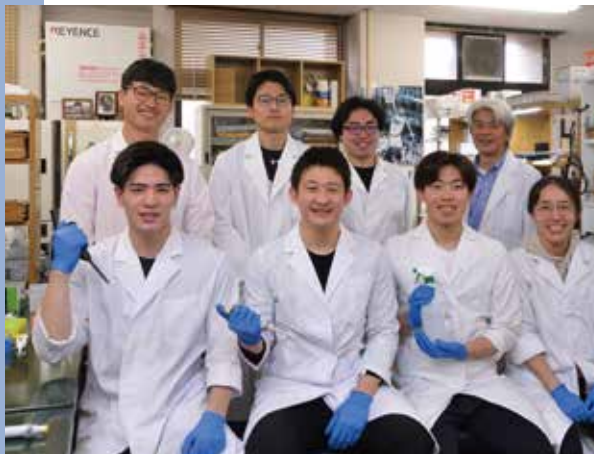
行田 朋晃さん

YUKITA Tomoaki

■総合型選抜（SS）入試
■出身校：島根県立島根中央高等学校
自身の専門競技であるカヌー競技を科学的、論理的に熟知したいと考え、中村ゼミを選択しました。ゼミでは、カヌーのパドルイング動作を運動学的視点で客観的にとらえて自身の課題を見つけ出し、その課題を解決するための効果的なトレーニング方法について探求しています。また、それらの内容を的確に言語化、説明することができるように努めています。将来は、中学生や高校生にカヌーを指導する立場に就き、ゼミで学んだ知識や考え方を生かして、的確な指導ができるようになりたいと考えています。



スポーツ生命科学系 田巻 弘之ゼミ | 現場ではたらく細胞と語らうスポーツ科学



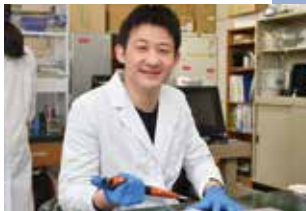
私たちのゼミでは、human & animal studyを通じて、筋肉や骨、神経系の改善や運動・トレーニングのあり方を探求する運動生理学研究を「細胞の視点」で行っています。多様な競技背景をもつ仲間が集まるので会話が新鮮で、研究内容も多様で、例えば新しいアイデアで加齢による筋萎縮や骨粗鬆症の対策に取り組むなど、幅広い年代や競技レベルで貢献する研究をしています。わからないことは優しい大学院生たちが丁寧にサポートしてくれるので、和やかな雰囲気の中で学びを深められることも魅力です。「研究やるならExcitingに!」をモットーに、自分の「?」を「!」にするchangeとchallengeを大切にしています。

満 園さん

MAN Yuan

■私費外国人留学生入試
■出身校：山東体育学院附属中学・中国

運動時の筋肉や骨、神経、ホルモンがどのように運動するのかを深く知りたくて、田巻研究室（Lab）を選びました。Labのゼミ活動では、筋細胞の顕微鏡観察やヒトの筋電図記録など多彩な実験を通じてからだの中で起こる現象が実感でき、細胞の声なき声に耳を傾ける感性を磨くことができます。将来は、ここで得た知識・技術・精神を生かして、evidence-basedなスポーツ指導や健康・リハビリテーション分野に貢献したいです。



スポーツ人文・応用社会科学系 坂口 俊哉ゼミ | アウトドアで、アウトドアについて、アウトドアのために学ぶ

私たちのゼミでは、「アウトドアスポーツを通じて社会課題を解決すること」「アウトドアスポーツで生じた社会課題を解決すること」を共通のテーマとした研究・実践活動を行っています。自然体験活動のサポートや、防災イベントへのプログラム提供など、実践を通じた学びの機会から各自の視野を広げ、得られた問題意識を研究に繋げることがゼミの目標になっています。2024年度は、スポーツ庁主催の「スポーツ・健康まちづくりデザイン学生コンペティション」にゼミ生がエントリーして優秀賞を受賞しました。こうしたコンペティションへの積極的なチャレンジを通じて、ゼミ生同士のコミュニケーションを活性化し、実践的な学びに繋げることもゼミ活動の一部となっています。

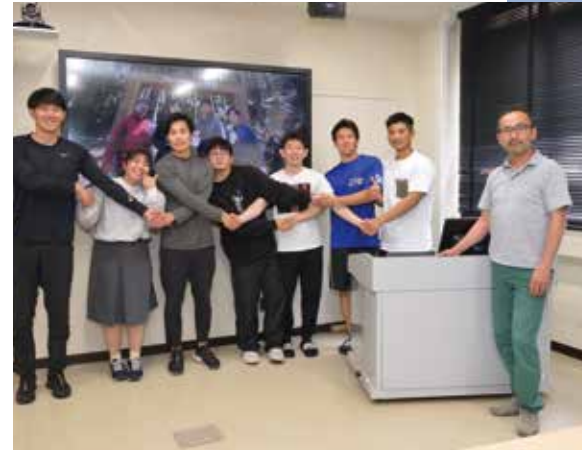


植木 一喜さん

UEKI Kazuki

■学校推薦型選抜
■出身校：鹿児島県立大口高等学校

キャンプ好き!アウトドア楽しそう!という直感で坂口ゼミに入りました。ゼミのメンバーは所属する課外活動がバラバラです。だからこそお互いに「異なる視点」を持って、意見交換ができることが魅力であると感じています。この1年間はイベントの企画運営や、ボランティア実践の中で、地域社会の現状と抱える課題を確認できました。今後は子どもの「自然体験格差」を是正するためのプロジェクト(学生コンペティション優秀賞)を実践していきます。





大学院

大学院体育学研究科の目的

鹿屋体育大学大学院体育学研究科は、スポーツ・健康に関する学術の理論及び応用と実践が一体となった教育研究を展開し、その深奥をきわめ、または高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した学力を培い、スポーツ文化の進展及び国民の健康増進に寄与することを目的としています。

令和6年度より、JSTの次世代研究者挑戦的研究プログラム（SPRING）に採択され、博士課程学生の支援に取り組んでいます。詳細はQRコードよりご覧ください。



体育学専攻

■ 修士課程

スポーツや身体運動を通して、国民が健康で幸福を享受できる社会の構築に貢献する専門的・実践的な能力の養成及び職業人として中核的な役割を担う人材の育成を目指しています。

■ 博士後期課程

体育学に関する最先端の研究活動を推進するとともに、スポーツや身体運動を通して、国民が健康で幸福を享受できる社会の構築に貢献する高度な専門的能力を有する人材の育成を目指しています。

■ 体育学・スポーツ科学連携大学院教育プログラム

本プログラムは、鹿屋体育大学大学院体育学研究科体育学専攻を中心として、複数の大学が連携・協力して教育・研究指導を行うプログラムです。

連携校

熊本大学大学院教育学研究科（修士課程・博士後期課程）
宮崎大学大学院教育学研究科（修士課程・博士後期課程）
鹿児島大学大学院教育学研究科（博士後期課程）
福岡県立大学大学院人間社会科学研究科（博士後期課程）

体育学専攻・博士後期課程・2年

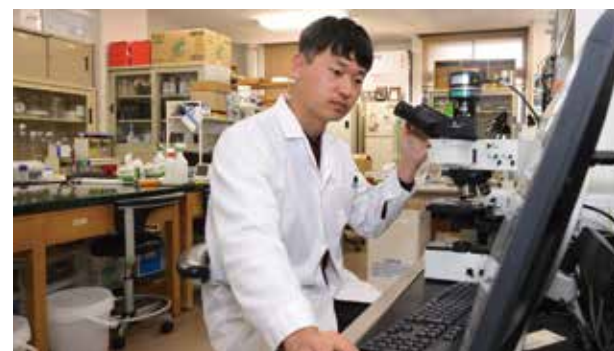
大賀 亮也

OGA Ryoya

■出身校：長崎南山高等学校・長崎県
鹿屋体育大学体育学部スポーツ総合課程
鹿屋体育大学大学院体育学研究科体育学専攻修士課程

「Exercise is Medicine」を科学する

「Exercise is Medicine」という言葉が示すように、適度な運動は心身に好影響をもたらすことが知られています。しかし、運動がどのように心身の健康を支えるか、そのメカニズムには未解明な部分が多く残されています。私は、運動によって骨から分泌されるホルモンが血糖値改善や筋肥大、認知機能などに関連することに注目し、骨を利用した効果的な運動方法を研究しています。将来はこれらの知見を生かし、人々のウェルビーイング向上に貢献する研究者を目指しています。ぜひ、私たちと一緒に体育・スポーツ・健康の未来を拓く研究に挑戦してみませんか？



大学院生からのメッセージ



国立スポーツ科学センター（JISS）との連携大学院 （博士後期課程）

国立スポーツ科学センターを主な勉学の間として、同センターの特色を生かした授業科目の履修及び研究指導を受け、鹿屋体育大学大学院の博士（体育学）の学位取得を目指すものです。



筑波大学との共同専攻

スポーツ国際開発学共同専攻 （修士課程）

スポーツというツールを用いて、国内外で生じている課題の解決に貢献できる人材の育成を目指す修士課程です。本学と筑波大学・日本スポーツ振興センターの3機関が共同して、スポーツを通じた国際開発と平和に関する実践的能力を養う教育プログラムを提供します。



大学体育スポーツ高度化共同専攻 （3年制博士課程）

大学体育スポーツの充実のために、教育指導と研究の循環を高度に展開できる能力育成を軸とした教育指向型の博士課程です。本専攻は筑波大学と本学との共同設置で運営しています。各大学の専門性・独自性を最大限に生かしながら、現職教員の方にも可能な限り無理なく受講ができるように、オンラインでの授業実施や週末の授業実施など、カリキュラムが工夫されています。





キャリア形成支援センター

キャリア形成支援センターは、就職やキャリア形成について学生の皆さんをサポートするためのセンターで、以下の設備等を備えており、学年に関係なくだれでも利用できます。

- ☐ 就職相談室（就職相談員が常駐しています）
- ☐ 求人資料、各種就職専門書・専門雑誌、資格試験雑誌等
- ☐ 貸出用就職関係図書



教員対策・公務員対策

模擬試験を年数回実施しています。
また、希望者に対しては、模擬面接も随時実施しています。

就職ガイダンス

各学年に応じた多くの就職情報を提供しています。

学内企業説明会

学内にて企業の採用担当者による企業説明会を開催しています。

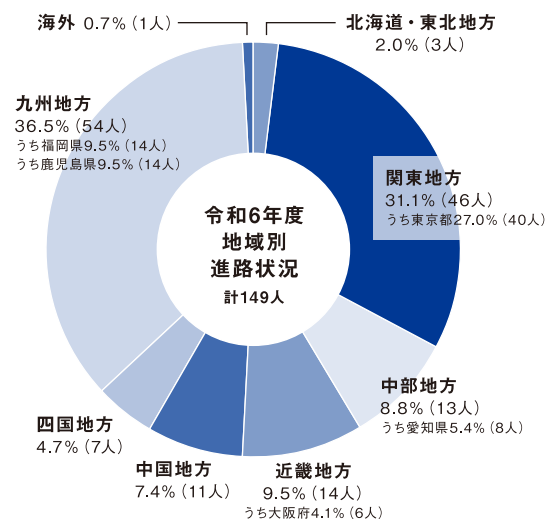
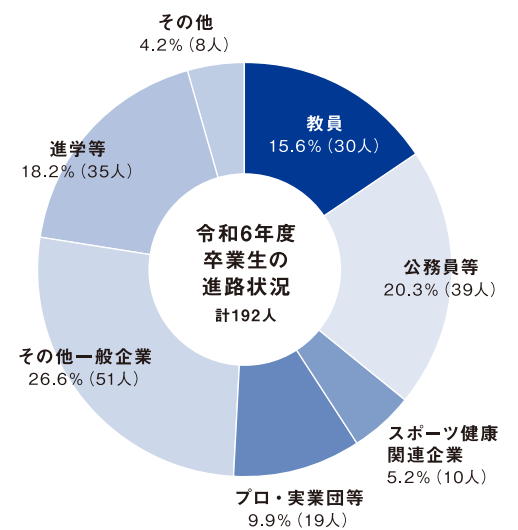
合同企業説明会

年1～2回福岡市で開催される合同企業説明会に、
借り上げバスを利用して「日帰りバスツアー」を行います。

就職支援事業等（主なもの）

1 年次	☐ キャリアデザインⅠ ☐ キャリアデザインⅡ ☐ 就職ガイダンス ☐ 教員採用・公務員模擬試験
2 年次	☐ キャリアデザインⅢ ☐ 企業実習 ☐ インターンシップ ☐ 就職ガイダンス ☐ SPI準備講座 ☐ 性格診断フィードバック講座 ☐ SPI対策講座 ☐ 教員採用・公務員模擬試験
3 年次	☐ キャリアセミナー ☐ キャリアコミュニケーション ☐ キャリア対策セミナー ☐ 企業実習 ☐ インターンシップ ☐ 学内企業説明会 ☐ 学外合同企業説明会 ☐ 就職ガイダンス ☐ SPI準備講座 ☐ 自己分析・ESの書き方講座 ☐ 性格診断フィードバック講座 ☐ SPI対策講座 ☐ 教員採用・公務員模擬試験 ☐ スポーツ指導実習
4 年次	☐ 教員採用・公務員模擬試験 ☐ 教員採用試験直前対策 ☐ 教育実習 ☐ 模擬面接 ☐ エントリーシート・履歴書の添削

就職実績



主要就職先

過去3年間の主な就職先・進路先<令和4年度卒～令和6年度卒>
（敬称略・順不同）

教員（臨時的任用教員・非常勤講師を含む）

秋田県、長野県、東京都、千葉県、愛知県、大阪府、兵庫県、愛媛県、高知県、岡山県、山口県、福岡県、大分県、熊本県、鹿児島県、沖縄県、ほか12県

公務員等

【警察官】警視庁、北海道警、神奈川県警、大阪府警、兵庫県警、広島県警、福岡県警、熊本県警、長崎県警、宮崎県警、鹿児島県警 ほか11府県 【刑務官】東京拘置所、京都刑務所、大阪拘置所、神戸刑務所、広島拘置所、北九州医療刑務所、福岡刑務所、佐賀少年刑務所、熊本刑務所、鹿児島刑務所 【消防士】東京消防庁、奈良県広域、名古屋市、北九州市、熊本市、鹿児島市、垂水市、ほか6自治体 【行政職】大田区、高崎市、浜松市、姫路市、山口市、鹿児島県、鹿屋市、ほか11自治体 【その他】海上保安庁、防衛省、青年海外協力隊、鹿児島県スポーツ協会、ほか10自治体

スポーツ健康関連企業

ミズノ、ニッキー、ゴールドウィン、アルペン、ラコステジャパン、セントラルスポーツ、五井病院メディカルフィットネスREBODY、トミオカ体操スクール、太陽スポーツクラブ、軽井沢高原ゴルフ倶楽部、松波総合病院、イトマンスイミングスクール、スポーツコミュニティ、ジュビロ、LAVA international、EF Education-NIPPO Development Team、米田功体操クラブ、酒井医療、ルネサンス、カープスジャパン ほか約15社

プロ・実業団等の選手

【サッカー】横浜Fマリノス、ロアッソ熊本、鹿児島ユナイテッドFC、いわきFC、ほか 【バレーボール】NECレッドロケッツ、デンソーエアリービーズ、マツダ、パナソニックエナジー、ほか 【バスケットボール】鶴屋百貨店、愛媛オレンジバイキングス 【自転車】シエルブルー鹿屋、TEAM MATRIX POWERTAG、シンプレクス・ホールディングス 【陸上競技】田子重、西日本幼児研究所ドームクラブ、戸上電機製作所、アスリートリンク、ほか 【体操競技】徳洲会体操クラブ、相好体操クラブ、宮崎県スポーツ協会 【硬式野球】富良野ブルーリッジ、火の国サラマnderズ、ジェイプロジェクト硬式野球部、日産自動車九州、KMGホールディングス、ほか 【柔道】ALSOK福岡 【剣道】パナソニックEWエンジニアリング社、NTTコムエンジニアリング

その他の一般企業

積水ハウス、一条工務店、グローリー、タマホーム、大塚製薬工場東京営業所、ネグロス電工、リコージャパン、オージーケーカブト、東芝テック、菱越工業、オープンハウス、博多港運、ANA沖縄空港、三菱電機販売、大阪トヨタ自動車、南九州マツダ、ソフトバンク、住友生命保険相互会社、みずほ証券、静岡銀行、岡三証券、鹿児島銀行、レバレジーズ、日本郵政、東北新社、南国殖産、鹿児島放送、福岡トヨペット、レッドパロン、ソニー損保 ほか約120社

進学

鹿屋体育大学大学院、筑波大学大学院、九州大学大学院、和歌山大学大学院、愛媛大学大学院、上越教育大学大学院、長崎大学大学院 ほか

武道課程の就職率※

7年連続
100%達成

※就職率とは就職を希望する者に対する就職者の割合

就職活動体験談

村井 七彩

MURAI Nanase

武道課程
出身校：岐阜県立長良高等学校
就職先：岐阜県警察

相談することの大切さ

小学生からの夢だった警察官になるために勉強を始めようと考えたのは、大学3年生の夏頃でした。筆記試験はキャリア支援センターで過去問題集などを借りて勉強をしていましたが、面接や小論文の対策方法がわからず、就職相談室に相談に行きました。自分ひとりではできない面接対策を、過去の質問やポイントなどを教えていただきながら何度も繰り返し行ってくださり、無事合格することができました。私自身、就職相談員に相談したことで、自分の強みや弱みを知る機会となり、視野を広げることができたと感じています。面接対策をしたい方や、まだ進路で悩んでいる方もぜひ、気軽に相談に行ってみてください！



Messages From Graduates

卒業生からのメッセージ

文武両道

自転車競技部のない普通科高校から鹿屋体育大学に入学しました。充実した設備、自転車競技場があり交通量が少ない大隅半島の環境、また、切磋琢磨できる仲間にも恵まれて大きく成長し、インカレ、国体などで優勝することができました。授業は、栄養学や心理学など自分が取り組む競技に直結する知識や理論を学べるほか、フリークライミング、ウィンドサーフィンやヨットなどの海洋スポーツなど、この大学ならではの楽しいものもあります。これから入学する皆さんにもスポーツと勉強を両立させて、素晴らしい学生生活を過ごしてほしいと思います。

倉敷市役所

中西 美央

NAKANISHI Mio

令和7年3月卒業 スポーツ総合課程
岡山高等学校・岡山県

スポーツと共に 充実した4年間

高いレベルのチームでプロを目指してサッカーをしたいと考え、鹿屋体育大学に入学しました。この大学は、設備がとて充実しており、且つ自然豊かでスポーツに真剣に取り組める環境が整っています。その中で、サッカー部の仲間と切磋琢磨して過ごした毎日は、僕にとってすごく充実したものでした。大学4年間は長いようで本当にあっという間です。限られた時間の中で、楽しむ時間と夢に向かって自分と向き合う時間、その両立ができて初めて充実した大学生活だったと言えると思います。皆さんも充実した大学生活を送れるように頑張ってください！

いわきFC

加藤 大晟

KATO Taisei

令和7年3月卒業 スポーツ総合課程
浜松開誠館高等学校・静岡県

©IWAKI FC

素敵な環境と 仲間との出会い

幼い頃から続けてきた剣道で「日本一」になりたいという思いから、鹿屋体育大学に入学しました。楽しいことばかりではありませんでしたが、素敵な先生方、先輩、後輩、同期のみんなと出会えたことで、課外活動でも私生活でも充実した4年間を過ごすことができました。また、人を支えることのやりがいや大切さも学ぶことができ、4年間の経験を生かしながら就職活動にも繋げることができました。鹿屋体育大学は、自分自身を見つめ直し、成長できる場所であり、素敵な仲間と出会うことができます。あっという間に4年間過ぎてしまうので、悔いなく今しかできないことを思いっきり楽しんでやってください！皆さんのご活躍を心から応援しています！

NTTコムウェア株式会社

濱田 望愛

HAMADA Moe

令和7年3月卒業 武道課程
鹿児島県立錦江湾高等学校

全力で挑戦できる4年間

コロナ禍で満足にスポーツができなかった悔しさから、「もう4年間だけ」との思いで鹿屋体育大学に入学しました。大学ではテニス部の課外活動はもちろん、授業やアルバイト、1人暮らしを通じて新たなコミュニティを経験しました。鹿屋の温かい人々との関わりの中で、人との繋がり大切さを学び、人間として成長できる環境だと実感しています。4年間はあっという間です。何事にも挑戦し、全力で取り組むことが大切だと思います。目標に向かって突き進んでください！

学校法人筑陽学園筑陽学園中学・高等学校

村上 真優

MURAKAMI Mahiro

令和7年3月卒業 スポーツ総合課程
筑陽学園高等学校・福岡県

課外活動

Extracurricular Activities

本学には、現在、23の課外活動団体があり、ほとんどの学生が加入しています。特に、多くの課外活動団体では、全国規模の大会で優秀な成績を収めるなど、活発な活動を展開しております。課外活動は、学生が自主的に行う活動であり、社会の一員として必要な資質を身に付けたり、教養を高めるなどの大切な役割を担っています。また、課外活動を通じて得られるさまざまな体験は、学生生活をより充実させ、一生忘れることのできないすばらしい思い出にもなります。したがって、学生が各自の関心と適性にあった課外活動団体に所属し、より高い専門的知識や技能を身に付けるために積極的に活動することをお勧めします。



硬式野球部

部員：101名



陸上競技部

部員：97名



テニス部

部員：23名





男子バレーボール部

部員：15名



男子バスケットボール部

部員：22名



女子バレーボール部

部員：27名



女子バスケットボール部

部員：30名





サッカー部
部員：78名



水泳部
部員：37名



体操競技部
部員：23名



柔道部
部員：76名





剣道部

部員：115名



自転車競技部

部員：23名



ヨット部

部員：10名



カヌー部

部員：30名



なぎなた部

部員：9名



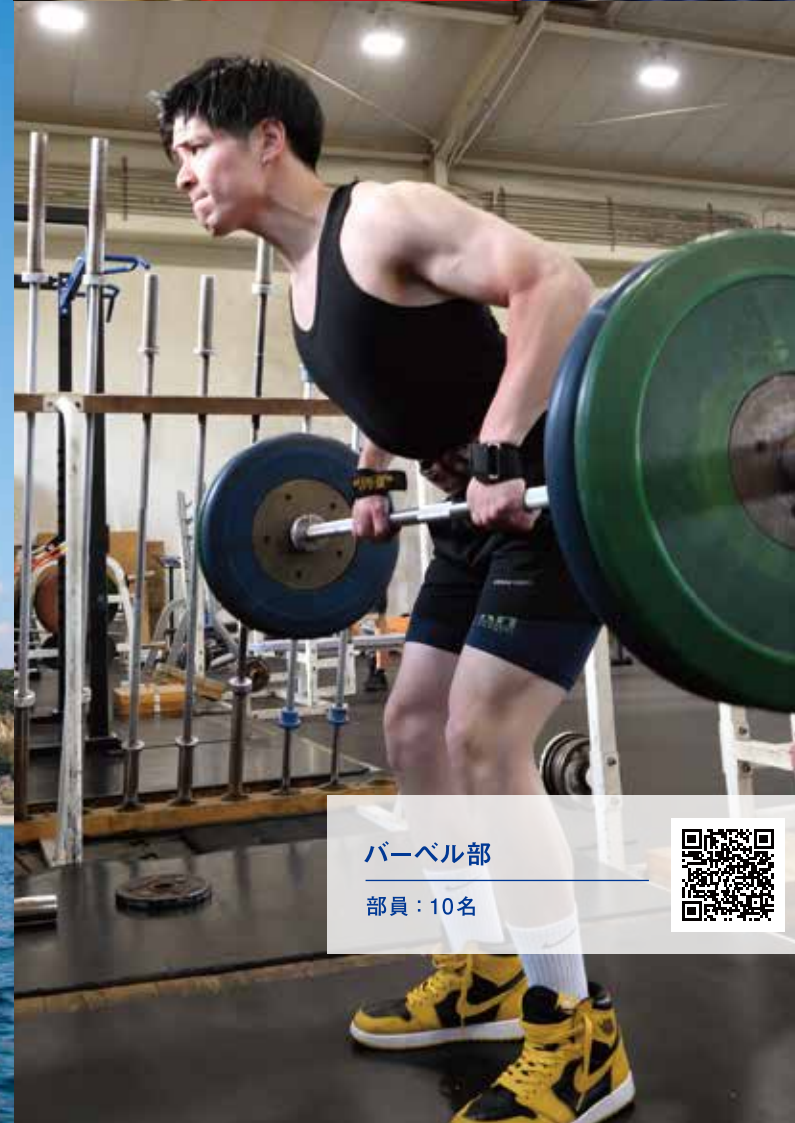
ダンス部

部員：3名



ウインドサーフィン部

部員：4名



バーベル部

部員：10名





漕艇部

部員：3名



弓道部

部員：3名



セパタクロー部

部員：4名



ボクシング部

部員：3名



4

- 新入生オリエンテーション
- 入学式
- 学長表彰式
- 新入生歓迎会・新入生合宿研修
- 前期授業開始
- 競技力向上の会



構内は桜が満開に！



毎年恒例！かのや夏祭り



暮れなずむ空がキレイでした！



満天の黄金色のイチョウ！

- 開学記念日（10/1）
- 後期授業開始
- 総合型選抜（SS）入試第2次選考
- オープンキャンパス
- 大学院体育学専攻入試

10

5

- 体育会定例総会
- 交通安全・防犯講習会

- 健康セミナー
- 学校推薦型選抜・特別選抜
- 学園祭「蒼天祭」
- オープンキャンパス

11

6

Campus Calendar

キャンパスカレンダー



授業で身体運動を測定！



楽しくダンス発表！



蒼天祭！マッスル！

- 体育会定例総会
- 冬期休業

12

7

- オープンキャンパス
- 学期末試験

- 大学入学共通テスト
- オープンキャンパス

1

8

- 第3年次編入学試験
- 夏期休業

- 学期末試験
- 競技成績報告会
- 学生リーダーズセミナー
- 一般選抜・私費外国人留学生入試

2

9

- 大学院共同専攻入試

- 春期休業
- 卒業式・学位記授与式
- 学長表彰式

3



海へ飛び出そう！



ラジオ収録中です。

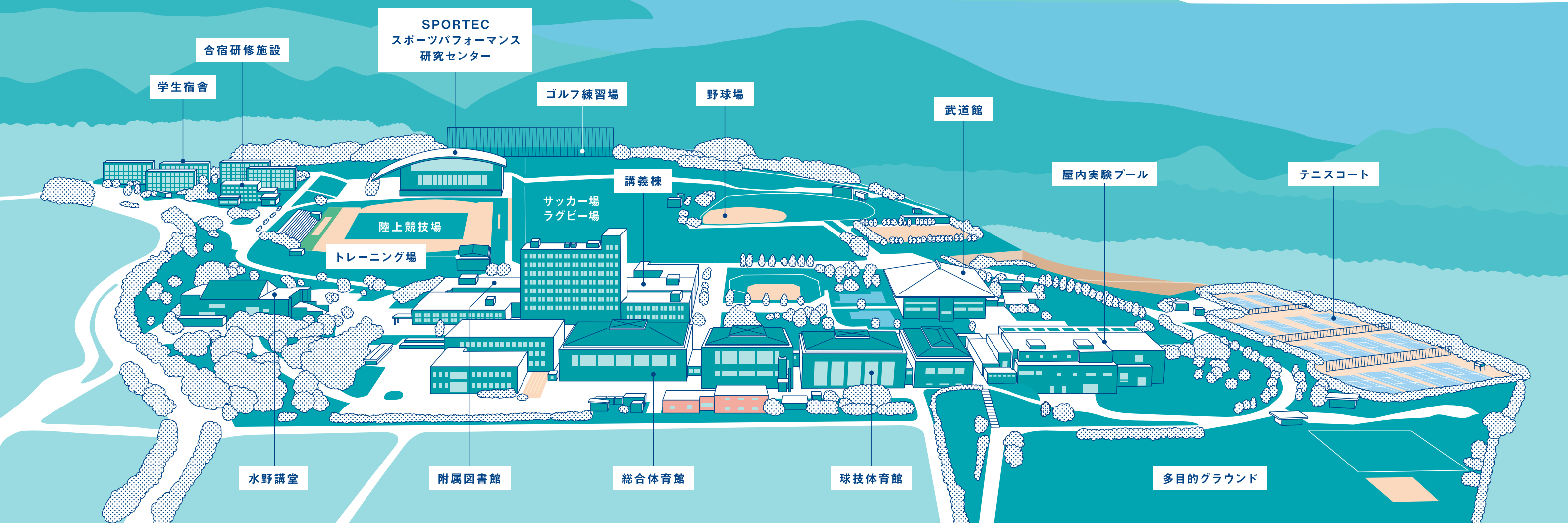


卒業おめでとう！



競技成績報告会！おいしい！





SPORTECスポーツパフォーマンス研究センター

SPORTECスポーツパフォーマンス研究センターは、国内初の最先端スポーツ科学研究設備を備えた学内共同教育研究施設です。スポーツ現場のコツやカンといった「実践知」を科学的エビデンスとして創出・還元するスポーツパフォーマンス研究を推進するため2018年に設置されました。屋内スポーツ実験室には主要設備として、世界最長の50mフォースプレート、フォースプレート一体型マウンドおよびバッターボックス、モーションキャプチャシステム、オブジェクトトラッキングシステム、ハイスピードカメラ、球質測定システム等の測定機器に加え、可動式カメラ架台、大型モニター 2台が設置されています。スポーツ実験室は約3,500㎡(70m×50m)の広さで、高さ15m、床は人工芝と陸上用のウレタン走路(屋内70m、屋外40mの最長110m)で構成されており、屋外(屋根付き)にはテニスコートが一面併設されています。施設内では、陸上、テニス等の個人種目に限らず野球やサッカー等のチーム種目におけるゲームパフォーマンス分析など多様なスポーツパフォーマンス測定を実施することが可能です。本学初のネーミングライツ施設です。

施設紹介

Campus and Facilities



附属図書館

附属図書館では、教育研究活動に必要な専門図書や一般教養図書のほか、体育・スポーツ、レクリエーションや武道分野の雑誌、映像資料等DVDも数多く所蔵しています。電子ジャーナル、英文多読に最適な電子図書も利用できます。また、グループ学習室、NIFSラコモといったグループ学習やオンライン授業等で利用できるスペースがあり、学生の自学自習の場として活用できます。



屋内実験プール

単に水泳競技用に使用するだけでなく、「泳ぎ」について運動力学、運動生理学的見地から科学的に教育研究活動が行えるよう最新鋭の機器を備えた施設です。1階は、50m×8レーン(25m×8レーンに変更可能)、水深2.0m～4.0m、高飛び込み5m、実験研究用コース(スイムミラー、ペースメーカー等の実験用器材を設置)、水泳のフォームをあらゆる角度から分析できる減圧調整可能流水プール、データ解析室等の設備を備えています。2階はミーティングルームのほか、上部からもビデオ撮影及び見学ができるキャットウォークも設置されています。水温は適温に調整され、薬剤注入や減菌が自動的にできる循環濾過装置も設置されています。



剣道場



柔道場



陸上競技場

海洋スポーツセンター

海洋スポーツに関する実践的指導者の養成、競技力向上(ヨット、ウインドサーフィン、カヌースプリント、ローイング等)、生涯スポーツ(セーリング、SUP、シーカヤック、スキンドайビング、磯遊び等)といった事業展開のもと、理論教育・実践指導・研究活動に取り組んでいます。また、公開講座の開催や関連団体のセンター活用、合宿や大会開催など施設開放も実施し、学外の海洋スポーツ関係者・団体との交流・研修も行っています。海洋スポーツ各事業・活動・研究成果などの情報を学内外に発信することによって、幅広く海洋スポーツの普及・振興に努めています。



学生宿舎紹介

学生宿舎は、大学敷地の一角に位置し、1棟70名収容の建物を5棟設けています。部屋はすべて個室（約6畳）で、収容人員は350名（男子280名、女子70名）、現在、在学生全体の約4割の学生が入居しています。棟内は、居室のほか、各階に共用施設として補食談話室、洗面、洗濯室、浴室、トイレ等があります。

寄宿料等は、1カ月当たり1万9300円（寄宿料4300円、運営費1万円、居室電気料5000円）です。規則正しい生活を送ることができるように、学部1年生から3年生については学生食堂での朝食摂取を入居の条件としています。

朝食代：年額7万9200円（令和7年度）、年度当初に前納（理由がある場合は、事前の欠食届提出により返金）

寝具類（掛・敷布団、毛布、枕、シーツ及びカバー）は、衛生管理面を配慮して入居者全員分を大学指定の業者からリースしています。消耗品（トイレトーパー、指定ゴミ袋、ゴミ袋、食器用スポンジ・洗剤、居室用蛍光灯）は入居者から徴収している運営費で購入しており、管理人室で払い出します。



居室は、すべて個室（洋室）になっています。広さは約10㎡（長方形で約6畳）です。



学生宿舎Q&A

Q. 入居選抜方法について

新入生においては、(1) 学生宿舎生活の支障の有無、(2) 自宅から大学までの距離及び交通手段、(3) 家庭状況及び経済状況、について勘案して選考を行います。加えて2年生からは、各種宿舎行事への出席状況や、日頃の生活態度なども審査対象になります。学生宿舎の入居許可期間は1年間（4月～翌年3月）ですので、入居後も毎年度選考を行います。

Q. 自動車の乗り入れについて

学生宿舎には約150台分の入居者用駐車場があります。駐車場の利用は許可制ですので、学生宿舎管理人室で駐車場の空き状況を確認し、申請書類を提出することで利用できます。なお、利用できるのは原則学部2年生以上で、学生宿舎から大学へ自動車で通学することはできません（大学と隣接しているため、徒歩で通学可能です）。

Q. 周辺アパートについて

大学周辺には学生向けアパート等が点在しており、家賃は、地域、部屋の設備等により異なりますが、6～8畳のキッチン、バス、トイレ付きで、2万5000円～4万円程度です。大学から5kmほど離れた西原地区は、家賃相場が多少上がりますが、スーパー、コンビニ等が大学周辺より多く生活至便です。

学生宿舎利用者

升澤 凜

MASUZAWA Rin

愛媛県松山市出身
武道課程4年



徒歩
5分

Q1：寮の良さは何ですか？

家賃が安く、生活費を最小限に抑えることができる点と学校からの通学距離が近い点です。

Q2：学生生活の楽しみは？

自然に恵まれた鹿児島で課外活動や自然スポット巡りなどを存分に楽しむこと。社会人になれば難しいであろうことを今のうちにやっておこうと思います。

Q3：お気に入りの場所やお店を教えてください

「竹亭」と「肉と魚」です。「竹亭」は鹿児島の黒豚を使用したトンカツが食べれる老舗のトンカツ屋さんです。鹿児島に来たなら絶対食べるべき!! イチ押しのお店です。「肉と魚」は居酒屋さんです。肉と魚どちらもあり、何を注文しても美味しいお店です。

Q4：休みの日は何をしていますか？

休みの日は、鹿児島市内へ行ってショッピングや映画を見ることが多いです。フェリーに乗って遠出するのがリフレッシュできて好きです。また、夏は課外活動の友達とよく近くの川へ行って遊んだり、鹿屋はご飯が美味しいので外食をして美味しいものをたくさん食べたりしています。

1カ月の生活費

家賃（寮費）	19,300円
食費	25,000円
日用品	5,000円
娯楽費	10,000円
交通費	3,500円
計	62,800円

1日の流れ

7:50	起床
8:00	朝食
8:30	授業
11:40	昼食
12:40	授業or買い物
15:50	
16:20	課外活動
18:30	トレーニング
19:30	夕食・洗濯
20:00	
21:00	課題
22:00	娯楽
24:00	就寝



アパート・マンション利用者

坂本 春空

SAKAMOTO Haruku

スポーツ総合課程4年
秋田県大仙市出身



自転車
5分

Q1：アパートの良さは何ですか？

アパートは寮と違い共用スペースがないため、自分のリズムで生活を送ることができます。また、自己管理能力が上がり、家事スキルやお金、時間の管理がしっかりとできるようになります。

Q2：学生生活の楽しみは？

課外活動や趣味に没頭できることです! 課外活動では、専門的な知識を学べるだけでなく、高いレベルの環境でプレーすることができます。ご飯や買い物、旅行などを授業の合間に楽しんだり、先輩や友達と自由に過ごしたりすることもできます。学生時代は、社会人になる前の貴重で充実した時間です。そのため、すべてに全力で取り組んでいます!

Q3：お気に入りの場所やお店を教えてください。

「みなと食堂」と「インドレストランパワナ」です! みなと食堂はかんばち漬け丼定食がおすすめです。あまりに好きすぎて、週3回通っていたこともありました。パワナは学生メニューがあり、ナンもおかわりできる



1カ月の生活費

家賃	40,000円
光熱水費	20,000円
食費	30,000円
日用品	3,000円
交通費	5,000円
計	98,000円

1日の流れ

7:00	起床、朝食、授業準備
8:15	大学へ
8:30	授業
11:40	昼食
12:40	授業
16:00	練習
20:00	帰宅・夕食・入浴など
24:00	就寝

など体大生にはうれしいポイントがたくさんあります。特にチーズナンが絶品なのでぜひ行ってみてください!

Q4：休みの日は何をしていますか？

部屋にすることが多いです。掃除をしたり、映画やYouTubeを見たりして、課外活動での疲労を回復させています。とはいえ、外出も好きなので、鹿児島市へご飯を食べに行ったり、買い物したり、友達と出かけることもあります!



キャンパス内には、学生・教職員の健康の保持・増進を図るための施設として「保健管理センター」があるほか、福利厚生に資するため食堂、売店、理・美容室、ATMなどがあります。

また、学生の憩いの場として「学生ラウンジ」を設け、学生相互のコミュニケーション等に利用されています。



保健管理センター

保健管理センターは、学生及び教職員の保健管理に関する専門的業務を行い、心身の健康の保持増進を図るための施設です。ここでは、医師及び保健師が在室し、学内で発生したケガ等に対する応急処置、健康及び精神衛生に関する相談・助言並びに保健指導のほか、定期健康診断等も行っています。また、リハビリテーションに必要な機器も備えてあり、リハビリを行うこともできるほか、心理カウンセリングを受けることもできます。



学生食堂

食堂は明るく開放感があり、多くの学生が利用します。朝食はバイキング方式で朝練後の学生や授業に向かう学生でにぎわいます。また、昼食はアラカルト方式になっており、お好みのメニューを選ぶことができます。このほか、ランチバイキングやカレーフェアといったイベントも企画しています。



学生ラウンジ



売店



理・美容室



ATM



合宿研修施設



ロッカー室

学 費

入学科等 (令和7年度)

区 分		金 額	納 入 時 期
入学科		282,000円	入 学 手 続 時
授業料	前 期	267,900円	5月下旬
	後 期	267,900円	10月下旬
その他経費 (各種保険料等)		86,800円	入 学 手 続 時

学費の免除

1.高等教育の修学支援新制度

令和2年度から、住民税非課税世帯またはそれに準ずる世帯の学生向けに、授業料・入学料の減免に、給付型奨学金の支給をセットにした新制度が開始されました。加えて、令和7年度からは扶養する子どもが3人以上いる世帯を対象とした多子世帯の学生等に対する大学等の授業料・入学料の無償化が開始されました。申込については、高等学校等での予約採用のほか、入学後の在学採用によっても申し込むことができます (新制度の非対象者や大学院生には、大学独自の入学料免除・授業料免除制度があります)。

2.入学料特別免除

入学前の競技成績 (大学院の入試成績) の特に優れた者に対し実施します。SS入学者は全員、学校推薦型選抜入学者は競技成績により選考 (申請不要)。

3.授業料特別免除

在学中の競技成績又は学業成績の特に優れた者に対し実施します。

傷害保険

教育研究活動中の不慮の災害事故の補償や、課外活動中・往復中の事故の補償のほか、他人への賠償等のために、次のような各種傷害保険を準備しています。

学生教育研究災害傷害保険	保険料：3,300円 (4年間) 1,750円 (2年間)
学生教育研究災害傷害保険付帯賠償責任保険	保険料：1,360円 (4年間) 680円 (2年間)
学生が体育実技や実験実習等の正課の授業中、学校行事、課外活動中等、教育研究活動中の事故や通学中等の事故によって被った傷害に対して、補償する制度。本学では、学生が安心して学業に励むことができるように入学期に全員加入していただいています。	
スポーツ安全保険	保険料：7,400円 (4年間) 3,700円 (2年間)
課外活動団体等でスポーツ活動、指導活動等を行う者がその活動中や往復中に生じた事故によって傷害を被った場合や他人にケガをさせたり、他人の物を壊したりして損害賠償責任を負った場合、補償する制度。本学では、学生が安心して課外活動ができるよう学部生は入学時に全員加入していただいています。	
学生総合補償プラン	保険料 (4年間) 一人暮らしA__57,790円 自宅学生D__49,860円 一人暮らしB__49,990円 自宅学生E__42,060円 一人暮らしC__44,850円 自宅学生F__36,920円
学研災付帯学生生活総合保険	保険料 (4年間) 自宅学生A__74,320円 一人暮らしD__80,310円 自宅学生B__43,540円 一人暮らしE__49,530円 自宅学生C__38,890円 一人暮らしF__44,880円
教育研究活動中のみならず日常生活で生じたさまざまな事故に対して、総合補償する制度。損害賠償制度や学費・育英費用にも対応しており、加入は、任意となっています。	

※令和7年4月現在

経済支援

鹿屋体育大学修学支援基金

寄付金及びその運用により構成される「鹿屋体育大学修学支援基金」を創設し、経済的理由により修学が困難な学生の支援を行っています。

- ① 授業料、入学料又は寄宿料の全部又は一部を免除する事業
- ② 学資金を支給する事業
- ③ 学生の留学に係る費用を負担する事業等

特別奨学金 (本学独自の奨学金)

学資負担者の死亡・失職等の理由により、経済的に著しく困窮し、かつ修学態度が良好である学生に対して、「特別奨学金 (20万円)」を給付します。

日本学生支援機構

① 給付奨学金

高等教育の修学支援新制度のひとつとして、人物・学業ともに優れ、経済的な理由により著しく就学困難と認められる者に給付される、返還の必要のない奨学金です。

② 貸与奨学金 (第一種：無利子、第二種：有利子)

人物・学業ともに優れ、経済的な理由により著しく就学困難と認められる者に貸与されます。

③ 入学時特別増額貸与奨学金 (有利子)

日本政策金融公庫の教育ローンを低所得を理由に受けられなかった世帯向け。人的保証制度に代わる機関保証制度により、保証人がいない場合でも一定の保証料を支払うことにより奨学金を貸与されることがあります。

鹿屋体育大学 日本学生支援機構奨学生数一覧

学 部							
	学生数 a	一 種	二 種	併用 (一 種 + 二 種) 内数	貸与 人数 b	貸与 比率 b/a	給付 奨学金 受給者
4年生	209	41	54	12	84	40%	32
3年生	200	56	55	19	92	46%	31
2年生	181	54	46	18	82	45%	23
1年生	177	46	46	15	77	44%	32
合計	767	197	201	64	335	44%	118
大 学 院							
	学生数 c	一 種	二 種	併用 (一 種 + 二 種) 内数	貸与 人数 d	貸与 比率 d/c	
修士課程	35	10	3	2	11	31%	
博士課程	37	4	1	1	4	11%	
合計	72	14	4	3	15	21%	

注) 地方公共団体や民間の育英奨学事業団体等の奨学金もあります。

本学は、下の地図に示されている 6 カ国・地域の10大学と大学間交流協定を結んでいます。このうち、上海体育大学（中国）、韓国体育大学校（韓国）、国立体育大学（台湾）、天津体育学院（中国）の4大学とは学生交流（交換留学）を行っています。交換留学生は学内選考を経て決定されます。留学期間は1年以内で、1大学当たり2名までを派遣しています。

交換留学においては、協定校で取得した単位を本学の単位として認定するための単位認定制度があります（ただし、協定校で取得した単位すべてが必ずしも本学の単位として認定されるわけではありません）。

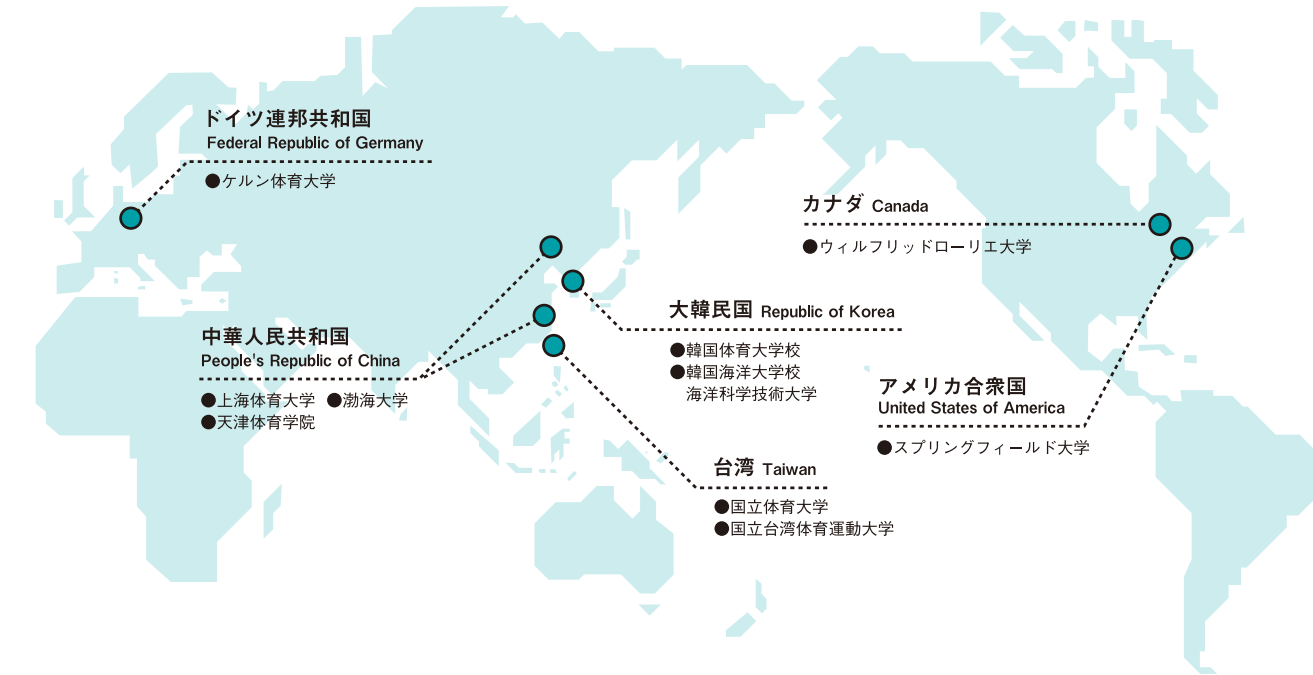
この他、本学とJICA（国際協力機構）はJICA海外協力隊連携派遣に関する覚書を締結し、2025年2月から2027年3月までの3年間にわたり、本学柔道部の学生をペルー共和国に派遣します。

外国人留学生在籍状況（令和7年5月1日現在） 単位：人

国・地域	学生区分別内訳				計
	大学院生	学部学生	特別聴講学生	研究生	
韓国			1		1
中国	7	2	3	1	13
モンゴル				1	1
計	7	2	4	2	15

※「特別聴講学生」は、交換留学制度により交流協定大学から本学へ留学している学生です。

大学間交流協定状況（令和7年5月1日現在）



大盛り上がり玉入れ競争！

国際交流の取組紹介

令和7年1月21日に、台湾の逢甲（ほうこう）大学で日本語を学ぶ学生と、本学学生との交流イベントを実施しました。本学の学生とスポーツを通して交流を深め、言葉の壁を越えたコミュニケーションを促進し、両大学の学生にとってグローバルな視座を養う契機となることを目的として企画されました。前半は双方の大学紹介を含む交流を行い、後半は参加者が一緒に体験するスポーツを通じた交流の一環として日本の運動会を行いました。後半のスポーツを通じた交流では、玉入れとスプーンを使ったボールリレーを赤組・白組・青組のチーム対抗戦形式で行いました。玉入れの玉を日本語と一緒に数えたり、小さなボールをスプーンから落とさないように慎重に運ぶ姿などが見られ、楽しみながらも両学の学生が共にチームワークを大切に、真剣に取り組む姿勢がみられました。

留学生からのメッセージ

学生時代に鹿屋体育大学で交換留学を経験し、日本のスポーツ文化や教育システムを深く知る機会を得ました。さらに専門性を高めるため、鹿屋体育大学の修士課程へ進学する道を選びました。現在は、国際スポーツ開発と社会心理学を中心に研究しています。留学生活では、異文化間でのコミュニケーション能力や課題解決のための柔軟性が求められましたが、それらを克服する中で大きく成長したと感じています。この素晴らしい環境で学ぶことができることに深く感謝しています。この経験を生かし、国際的な視野を持ちながらスポーツがもたらす社会的影響について探求していきたいと思います。

王 鈺勅 WANG Yuqing

課程・学年：大学院体育学研究科スポーツ国際開発学共同専攻2年
出身地：中国



留学生からのメッセージ

日本に来て2年間、北海道から九州までの「縦断旅行」を経験しました。慣れた環境を離れ、まったく未知の環境へと足を踏み入れることは、誰にとっても大きな試練です。しかし、居心地の良い場所から一步を踏み出したからこそ、大きな成長を遂げることができました。鹿屋体育大学での学生生活は、体育・スポーツの専門知識を学ぶだけでなく、心身の成長や自己探求の貴重な過程でもあります。この留学経験は、生涯にわたる財産になると確信しています。ぜひ、スポーツを通じて未来を切り拓き、自分自身を創り上げていきましょう。

陳 真 CHEN Zhen

課程・学年：大学院体育学研究科修士課程2年
出身地：中国





入学者選抜実施結果

体育学部 ()は女子で内数

単位：名

入 試 区 分		募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
総合型選抜 (SS)入試	スポーツ総合	10	11 (4)	※11 (4)	11 (4)	11 (4)
	武 道	5	3 (2)	※3 (2)	3 (2)	3 (2)
	計	15	14 (6)	※14 (6)	14 (6)	14 (6)
学校推薦型選抜	スポーツ総合	50	66 (21)	66 (21)	50 (20)	50 (20)
	武 道	20	27 (10)	27 (10)	22 (9)	22 (9)
	計	70	93 (31)	93 (31)	72 (29)	72 (29)
一般選抜	スポーツ総合	60	187 (29)	175 (28)	73 (13)	70 (12)
	武 道	25	29 (9)	29 (9)	27 (8)	26 (7)
	計	85	216 (38)	204 (37)	100 (21)	96 (19)
特別選抜 (帰国生徒)	スポーツ総合	若干人	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	武 道	若干人	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	計	－	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
特別選抜 (社会人)	スポーツ総合	若干人	2 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)
	武 道	若干人	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	計	－	2 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)
私費外国人 留学生入試	スポーツ総合	若干人	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)
	武 道	若干人	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	計	－	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)
合 計	スポーツ総合	120	267 (54)	255 (53)	134 (37)	131 (36)
	武 道	50	59 (21)	59 (21)	52 (19)	51 (18)
	計	170	326 (75)	314 (74)	186 (56)	182 (54)

※総合型選抜(SS)入試の受験者数は、第2次選考の受験者数を示す。

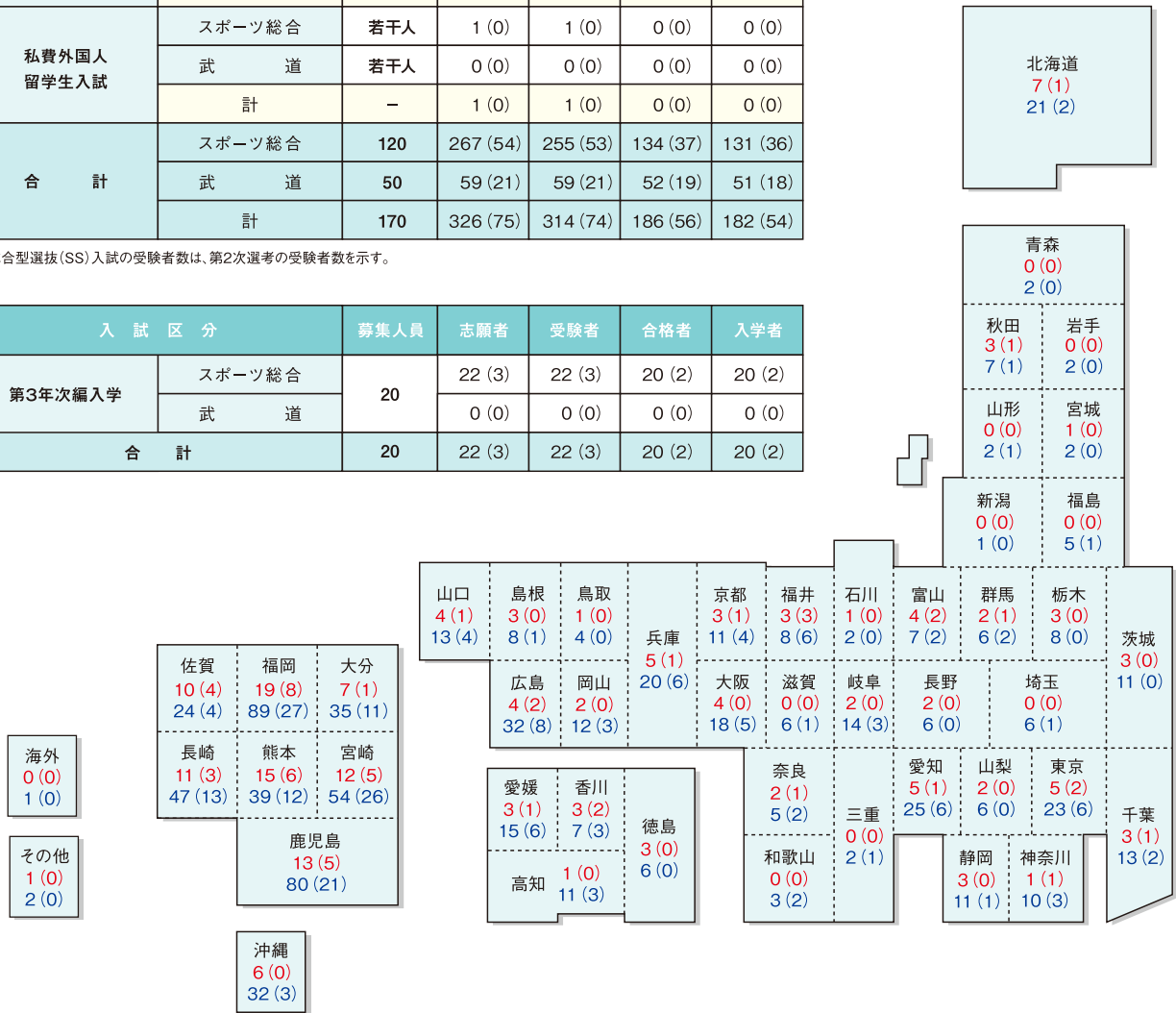
入 試 区 分		募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
第3年次編入学	スポーツ総合	20	22 (3)	22 (3)	20 (2)	20 (2)
	武 道		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
合 計		20	22 (3)	22 (3)	20 (2)	20 (2)

令和7年度
出身地別入学者数
(出身高等学校等所在地による都道府県内訳)

合計 182 (54)
(第3年次編入学者は除く)
※()内は女子で内数

令和7年度
出身地別在学者数
(出身高等学校等所在地による都道府県内訳)

合計 774 (203)
(令和7年4月現在在籍者全員)
※()内は女子で内数



総合型選抜 (SS) 入試

トップ・オブ・トップの競技成績で勝負!

●スポーツ・武道の分野で
社会貢献したいという意欲を評価
●今の競技力を、さらに向上させる
取り組みと姿勢を評価

提出 (出願) 書類

●自己推薦書
志望理由や入学後の目標、将来の夢を記入
●競技歴調書
競技成績を記入

試験内容

●第1次選考
自己推薦書、競技歴調書、調査書等を総合判定
●第2次選考
「プレゼンテーション+口頭試問」試験、健康診断

学校推薦型選抜

専門とする競技種目でアピール!

●専門とする競技種目で評価
●面接で競技意欲や学習意欲を評価

提出 (出願) 書類

●競技歴調書
競技成績を記入
●推薦書
出身学校長が推薦理由を記入

試験内容

●小論文
●面接
●実技検査

一般選抜 (前期日程のみ)

共通テストは3教科・3科目で勝負!

●大学入学共通テストは、得意とする3科目で評価
○国語・数学から1科目
○地理歴史・公民・理科・情報から1科目
○外国語から1科目
●「プレゼンテーション+口頭試問」試験で
思考力・判断力・表現力を評価
●実技検査は得意とする競技種目
または運動能力検査で評価
●共通テスト：2次試験＝600点：400点

試験内容

●大学入学共通テスト
●「プレゼンテーション+口頭試問」試験
●実技検査

令和8年度入試・関連イベントカレンダー

7月

8月

9月・10月

11月・12月

1月

2月

3月

夏の
オープンキャンパス
7/19・20

秋の
オープンキャンパス
10/11

出願直前
オープンキャンパス
1/25

出張型オープンキャンパス 7/27、8/3、8/24、9/6、9/14、9/21

オンライン進学相談 年間受付中

総合型選抜 (SS) 入試

出願書類
受付期間
9/1～9/16

第1次
選考期間
9/1～9/16

第1次選考
合格発表日
9/19

第2次
選考日
10/15

合格
発表日
11/4

入学手続書類
受付期間
2/12～2/18

学校推薦型選抜

出願書類
受付期間
11/4～11/6

試験日
11/20・11/21

合格
発表日
12/1

入学手続書類
受付期間
2/12～2/18

第3年次編入学試験

出願書類
受付期間
8/1～8/6

試験日
8/25・8/26

合格
発表日
9/4

入学手続
書類受付期間
2/12～2/18

一般選抜

大学入学
共通テスト
1/17・1/18

出願書類
受付期間
1/26～2/4

試験日
2/25・2/26

合格
発表日
3/6

入学手続書類
受付期間
3/11～3/15

7月

8月

9月・10月

11月・12月

1月

2月

3月

詳しくは
公式ホームページを
ご覧ください。



令和9年度入試から体育学部スポーツ総合課程の 入学者選抜方法が変わります。

※計画中のため変更になる場合がございます。

総合型選抜に新たな入試を導入

スポーツを「ささえる」専門家になる!

こんな方に
オススメ

- 運動が得意ではないけど、スポーツや体育、健康づくりなどに興味と関心がある
- スポーツなどを「ささえる」活動で、社会に貢献するビジョンを持っている
- 将来、スポーツ界で「ささえる」活動の先駆者になりたい夢を持っている

そのような受験生のために

鹿屋体育大学は、令和9年度入試から新たな総合型選抜を導入します。

選抜方法	学びの場
第1次選考	鹿屋体育大学は次のプログラムや環境を用意して応援します。
●自己推薦書 ●プレゼンテーション動画 ●調査書	●体育・教育強化プログラム (SHEEP) 大学院への進学希望者で、英語力・研究力・行動力を磨きたい学生に対して様々な支援 1年次から担当教員を選んで、やりたい活動を支援
第2次選考	●学生挑戦プロジェクト こんなことをしたいけど自分ひとりでは難しい・・・ そんな夢を、大学として支援(旅費などの必要経費を支給)
●グループディスカッション ●口頭試問	●NIFS学生広報スタッフ 鹿屋体育大学の広報スタッフとして大学の魅力を発信する活動を支援
詳細は令和8年度に公表する「入学者選抜要項」 または「学生募集要項」でお知らせします	●Blue Winds学生マネジメントスタッフ Blue Windsの学生マネジメントスタッフとしてイベントを運営する活動を支援
	●その他必要に応じて支援

一般選抜（前期日程）の配点を自身で選択

得意な科目を活かして挑戦!

こんな方に
オススメ

- 実技検査は自信がないので、大学入学共通テストで勝負（リード）したい!
- 鹿屋体育大学の課外活動団体にスタッフとして携わりたい!

そのような受験生のために

鹿屋体育大学は、令和9年度入試から一般選抜（前期日程）〔スポーツ総合課程〕の配点を、
従来の方法に加え、より大学入学共通テストの成績を重視した配点方法を導入します。

特徴

- これまでの配点方法（共通テスト600点+プレゼン口頭試問100点+実技300点：A選抜）に加え、
新たな配点方法【共通テスト800点+プレゼン口頭試問100点+実技100点：B選抜】を導入
- A選抜とB選抜のどちらの配点方法を志望するかは受験生自ら選択
- A選抜とB選抜で迷っている人は併願も可能

大学説明会

■ 夏のオープンキャンパス

令和7年 7月19日 (土) 11:00～16:00

- 開催場所／鹿屋体育大学水野講堂
- 対象者／高校生、受験希望者（保護者含む）、学校関係者など

■ 秋のオープンキャンパス

令和7年 10月11日 (土) 11:00～16:00

- 開催場所／鹿屋体育大学水野講堂
- 対象者／高校生、受験希望者（保護者含む）、学校関係者など

■ 出願直前オープンキャンパス

令和8年 1月25日 (日) 13:00～15:00

- 開催場所／オンライン
- 対象者／令和8年度一般選抜受験希望者（保護者含む）、学校関係者

■ 夏・秋オープンキャンパスでは

- ①鹿屋体育大学の施設、教育、大学生活、就職などについて聞こう
 - ②鹿屋体育大学の入試について聞こう
 - ③学食で昼食を食べよう【無料：バイキング】
 - ④学生からアドバイスを聞こう
 - ⑤キャンパスツアーで施設を見て、体験しよう
 - ⑥個別に相談してみよう（学生も同席します）
- ※開会前には課外活動（部活動）見学ができます【自由参加】

■ 出願直前オープンキャンパスでは

- ①鹿屋体育大学の施設、教育、大学生活、就職などについて聞こう
- ②鹿屋体育大学の入試について聞こう
- ③学生からアドバイスを聞こう
- ④個別に相談してみよう（学生も同席します）

お申込期間・お申込方法

■ 夏のオープンキャンパス

令和7年 6月1日（日）～7月18日（金）12時

下記QRコードから
お申し込みください。

■ 秋のオープンキャンパス

令和7年 9月1日（月）～10月10日（金）12時

■ 出願直前オープンキャンパス

令和7年 12月1日（月）～令和8年 1月21日（水）12時



体験授業

開催日 | 令和7年 7月20日 (日)

- 対象者：高校生・受験希望者（保護者は見学可）
- 実施科目等：理論科目と実技科目を1科目ずつ開講する。

お申込方法

参加希望者は、右のQRコードから
お申し込みください。



申し込み期限

令和7年 6月1日（日）～7月18日（金）12時

A | スポーツマネジメント概論 | 関 朋昭 教授 | 募集人員 100名

スポーツマネジメントとは、スポーツと人々をつなぐことです。スポーツには「する・みる・ささえる・知る」以外にも、まだまだ多くの可能性を見出すことができます。本体験授業を通じて、スポーツや武道の新たな視点を探ってみましょう。

- 受付時間：9時00分～ ○開催時間：9時30分～10時30分（60分）
- 場所：講義棟205教室（2階）

B | 体カトレーニング | 小森 大輔 准教授 | 募集人員 40名

垂直方向と水平方向のジャンプトレーニングを体験しよう!

- 受付時間：10時30分～ ○開催時間：11時00分～12時00分（60分）
- 場所：SPORTECスポーツパフォーマンス研究センター

出張版 オープン キャンパス

- 大 阪－7月27日（日）
- 札 幌－8月 3日（日）
- 新 宿－8月24日（日）
- 町 田－9月 6日（土）
- 名古屋－9月14日（日）
- 広 島－9月21日（日）

[スケジュール] 14:00～16:30

- ①大学及び入試の説明
- ②学生の発表
- ③個別相談会

お申込方法

申し込み期限 | 令和7年7月1日（火）～各開催日の前日
右のQRコードからお申し込みください。



オンライン 進学相談

鹿屋体育大学ではオンラインによる進学相談を年間を通して受け付けています。
本学アドミッションセンター教職員が丁寧にご説明いたします。
高校生や受験希望者のほか、保護者や学校関係者の方も大歓迎です。
※お申し込みは右記公式ホームページ QRコードから





昭和56年10月1日－鹿屋体育大学設置
昭和59年4月1日－学生受入れ
昭和60年4月1日－外国語教育センター設置
昭和62年4月1日－海洋スポーツセンター設置
昭和63年4月1日－大学院体育学研究科体育学専攻(修士課程)設置
昭和63年5月25日－保健管理センター設置
平成5年10月1日－開講10周年記念式典挙行(開学12周年、学生受入れ後10回目の開学記念日)
平成6年5月20日－スポーツトレーニング教育研究センター設置
平成10年12月1日－スポーツ情報センター設置
平成13年4月1日－生涯スポーツ実践センター設置
平成13年9月30日－開学20周年記念式典挙行
平成15年4月1日－アドミッションセンター設置
平成15年4月1日－3学期制から2学期制へ移行。
学部の7講座制から3系制に移行
平成16年4月1日－国立大学法人鹿屋体育大学設立
大学院体育学研究科体育学専攻(博士後期課程)設置
平成18年4月1日－体育・スポーツ課程をスポーツ総合課程に名称変更
平成19年4月1日－大学院体育学研究科(博士後期課程)の定員2名増
平成20年4月1日－体育学部第3年次編入学の定員10名増
平成21年8月1日－東京サテライトキャンパス開設
平成23年4月1日－外国語教育センターを国際交流センターに名称変更
平成23年9月24日－開学30周年記念式典挙行
平成27年3月－スポーツパフォーマンス研究棟竣工
平成28年4月1日－筑波大学との共同専攻設置
・スポーツ国際開発学共同専攻(修士課程)
・大学体育スポーツ高度化共同専攻(3年制博士課程)
平成30年4月1日－SPORTECスポーツパフォーマンス研究センター設置
令和3年6月1日－キャリア形成支援センター設置
令和3年9月25日－開学40周年記念式典挙行
令和3年12月31日－東京サテライトキャンパス廃止
令和4年10月－鹿屋体育大学ビジョン「NIFS NEXT30」策定
令和5年1月1日－スポーツイノベーション推進機構設置
令和5年3月31日－3つのセンターの機能を推進機構の3部門へ移管
・スポーツトレーニング教育研究センター
↳[スポーツサイエンス部門]
・スポーツパフォーマンス研究センター
↳[スポーツパフォーマンス・コーチング部門]
・生涯スポーツ実践センター
↳[ヘルス・スポーツプロモーション部門]

NIFS KANOYA TOPICS

A.C.E. KANOYAを 目指そうプロジェクト

鹿屋体育大学は、国立大学唯一の体育系単科大学として、「スポーツで未来を拓く自分を創る」をスローガンに、我が国のスポーツ・武道及び体育・健康づくりに関する教育と研究を発展させる使命をもった大学です。また、本学では、「NIFS NEXT30」という長期ビジョンを策定し、スポーツの各領域で、先導的な役割を担う大学としての使命として、4つのミッションの達成を目指しています。このうち、教育・学習支援のミッションとして、A.C.E.KANOYAを目指そうプロジェクトに取り組んでいます。活気ある(Active)独創的な(Creative)精鋭(Elites)の頭文字をとったプロジェクトでは、A.C.E.KANOYAを目指す学生への支援を進め、全学をあげて“学生のやる気”を支援しています。令和5年度からは、本学における学業及び課外活動の成果の両方が優れている学生を「A.C. E. KANOYA」の資質・能力を兼ね備えた者としてみなし、A.C.E.KANOYA賞として表彰する制度を始めました。

学長メッセージ

鹿屋体育大学は、国立唯一の体育大学として、令和3年度に開学40周年を迎えました。そして、令和4年度には、未来に向けた鹿屋体育大学の挑戦として、西暦2050年をターゲットイヤーとする長期ビジョンNIFS NEXT30を策定しました。NIFS NEXT30では、本学が将来にわたり養成を目指す人材像として、A.C.E. KANOYA【活気ある、独創的な、精鋭】をスローガンに掲げ、「先導的かつ即戦力となる人材」の育成を基盤に、「スポーツ界のオピニオンリーダー」および「国際大会で活躍するアスリート」の輩出を目標としています。

近年のスポーツ界における情報通信技術の活用は、アスリート支援の高度化および専門化を加速し、またトレーニングやコーチング、あるいは個人やチームの戦術および戦略の決定や健康づくりを目的とした運動プログラムの実践には、様々な科学技術が関与しています。しかし、その一方で、情報通信技術の著しい発達と普及は、科学的エビデンスの有無に関係なく、スポーツや健康に関連する様々な情報が、社会に溢れかえるという状況を生み出していることも事実です。そのような状況下において、スポーツや武道の健全な発展のためには、

科学的に裏付けられた理論と方法に基づく、指導や普及が必要不可欠です。

大学でのスポーツ活動や学びの道は、決して平坦なものではありません。日々のトレーニングや稽古の過程において、様々な身体的、心理的な課題に遭遇し、試行錯誤を繰り返しながら、課題解決に向けた努力を続けることが求められます。しかし、それは課題が生じる背景を論理的に推理し、実践することを通して課題解決の手段を探究しつつ、かつ具体化する能力を磨く機会になるはずです。そのような実践を通しての課題解決に向けた試行錯誤は、いわば科学研究のプロセスそのものに他なりません。大学生活におけるそれら一連の試行錯誤の繰り返しは、経験知だけではなく科学的エビデンスに基づく、スポーツや武道の指導および普及を担う者にふさわしい、資質と実践力の修得につながります。そして本学は、そのプロセスをより充実した形で実現できる、カリキュラムと指導スタッフおよび設備を有しています。

自然あふれる大隅鹿屋の地で、心身ともに充実した大学生活を送り、A.C.E.KANOYAを目指してみませんか。

鹿屋体育大学長 **金久 博昭**



地域貢献・社会貢献

本学では、大学のもつ人的・知的資源、施設・設備等を生かし、様々な地域貢献・社会連携等の取組を行っています。学生が主体的に関わるものも多く、貴重な学びの場にもなっています。

また、大学スポーツを通じて、鹿屋市をはじめとした地域との交流の輪を広げ、地域活性化に寄与する取組であるBlue Winds事業として、大学スポーツの観戦・応援イベント(カレッジスポーツデー)やスポーツをカタルガ(語るスポーツ人材育成プロジェクト)等の取組を実施しています。



アクセス周辺環境



8haの広大な敷地に3万5千株のバラが植えられた日本最大級を誇る「かのやばら園」。鹿屋オリジナルのバラ『プリンセスかのや』をはじめ、春のシーズンには、たくさんのバラが咲き誇ります。



滑走路跡の2本の直線道路が、桜の名所としても知られている
平和公園にあるアリーナ。



鹿屋市中心市街地は美味しい、楽しいがいっぱい。レトロな雰囲気のお店や鹿屋の特産物、名物を味わえるお店が数多く並びます。



珍しいガラスの鳥居と連なる赤い鳥居が印象的な神社。静かで落ち着いた雰囲気です。



近年話題になった癒しスポット。1.2kmの遊歩道を進むと大パノラマが広がり、エメラルドグリーンの滝つぼは美しく神秘的です。



垂水港から車で約5分の場所にある道の駅。地域の野菜や特産品を販売するマルシェや錦江湾と桜島を一望できるカフェやレストランがあります。